

大学名

宮城教育大学(防災教育研修機構)

表題

震災教訓の伝承を通して「ともに生き抜く力」を育む防災教育の確立を目指す

取組の様子



震災の学校被災、避難の現場を視察する自主ゼミ「311ゼミナール」の学生たち

特色ある取組

東日本大震災の被災地にある唯一の国立教員養成大学として、震災教訓の伝承を通じた防災教育推進の責務を果たすため、2019年度「防災教育研修機構」を新設した。一般名称を「311いのちを守る教育研修機構」と定めて目標を明確化。「ともに生き抜く」力を身につけるための教育の確立を目指している。南海トラフ地震警戒地域など全国の教職員を受け入れて被災地視察研修(3泊4日)を定期開催。学生は防災必修科目の履修、自主ゼミ「311ゼミナール」での活動を通じて震災に深く向き合う。



石巻市旧大川小跡地などを視察し、学校防災について意見交換する全国の教職員たち



期待できる成果・評価 など

- ・全国の現職教職員対象の被災地視察研修には、これまで北海道から沖縄まで18都道府県から約80人の参加があり、東日本大震災の学校被災の現場の視察を通して備えの重要性を確認。被災者から聴いた教訓を持ち帰り、校内や地域で研修会を開くほか、避難訓練の改善、マニュアルの見直しに取り組んでいる
- ・311ゼミナールの学生の活動はメディアでも取り上げられ、教員を目指す立場から「ともに生き抜く力」を育む教育の重要性を発信している
- ・国土交通省東北地方整備局との協定締結による「いのちを守る教員のための防災教育ブックレット」(風水害編)の作成による気象災害への対応

多様な連携ネットワーク(大学間・部局間協定締結等)

東北大学災害科学国際研究所との連携協定
国土交通省東北地方整備局との連携協定
国立研究開発法人防災科学技術研究所との連携協定
東北地区国立大学法人間大規模災害連携
仙台市・仙台市教育委員会との防災教育推進協定
南あわじ市との防災教育推進協定

南海トラフ地震・大津波警戒域
53の最重点市区町村
(10mの津波が30分以内に到達)

震災教訓を活かした高度な
学校防災の推進が必須



被災地唯一の
国立教員養成大学

近年、激化する気象現象に伴う災害への対応力、指導力を身につけた教員の育成・研修も喫緊の課題となっている。小規模な、国立教員養成単科大として、外部との連携関係を活かし、教職課程の学生向けの学校防災教育の教育研究の高度化を図るとともに、その成果を、首都直下・南海トラフ地震想定域を中心とした全国の現職教員への研修を通じて学校防災教育の研修拠点としての機能を強化している。

参考URL

防災教育研修機構 HP

<https://bousai-miyagi.sub.jp/bousai-kyoiku/>